

奇抜、カラフル 十人十色

30日まで 障害者施設が作品展

廿日市 廿日市市 加している。今回出品
宮島町のぎ した作家は20〜70代。

やらしい宮郷で25日、 香川定之さんが18年前
知的障害者の支援施設 に制作した「高陽寮」

「太田川学園」(安佐 は、カレンターの裏紙
南区)のアーティスト などを活用した縦30

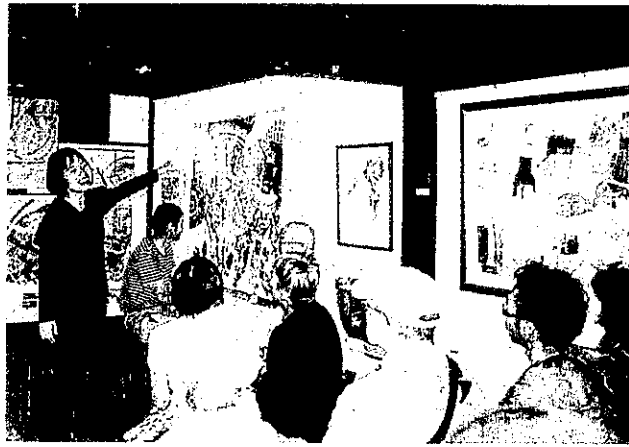
7人の作品22点を紹介 移、横40移の絵を12枚
した「ハナサクモリの 組み合わせ、巨大な1

冒険」が始まった。30 枚絵にしたもの。下書
日まで。 きはせず、ボールペン

同学園は7年前、施 やクレヨン、色鉛筆な
設内にギャラリー「ハ どを使って寮の周囲に

ナサクモリ」をオーブ 線路を張り巡らせた奇
ンさせ、70〜80人が参 抜な構図で、昨年フラ

ンスのパリで開催され 流展に出展された。
た障害者の文化芸術交 70歳まで絵を描いた



会場に集まった人々に作品を紹介する水ノ上茉優
さん(左)＝廿日市市宮島町のぎやらしい宮郷で

ことがなかった横田 さんが、ほのぼのとし
た人物画に特徴があ り、2015年に京都
で開かれた舞台の案内 パンフレットに採用さ
れた。カラフルな構図 が持ち味の水ノ上茉優
さん(25)は「I L o
ve You FUK

入場無料。ぎやらり
い宮郷(0829・44
2608)。【元田慎】

「USHIMA」「ハッ
ピーエンド」を出品。
「東日本の復興を願
い一生懸命描いたよ。桜
の風が吹いた。ウケイ
スもいた。七色の虹が
きれい」と解説し、ギ
ャラリーの盛大な拍手
を受けていた。